

リリースノート—AJA Mac Plug-ins for Adobe v10.4.5

全般

初めてAJA製品を使う場合は、インストールCD内にある「Read Me First.PDF」を必ず確認してください。AJA Mac Plug-ins for Adobe v10.4.5は、KONAシリーズとIo Express、Io XT、T-TAPへの新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

動作環境

- ・ Mac OS X 10.7 ,10.8 以降 (64bit カーネルモードで動作している必要があります)
- ・ QuickTime™ 7.6 以上
- ・ KONA シリーズ、Io Express、Io XT 、T-TAP v10.4.4、あるいはv10.4.5 ドライバ
- ・ Premiere Pro CS6/CC, AfterEffects CS6/CC, Photoshop CS6/CC, Prelude CS6/CC, Encore CS6/CC, Speed Grade CC (いずれも最新バージョンへのアップデートを推奨します)

新機能

- ・ Adobe Premiere Pro CC, After Effects CC, Photoshop CC, and Speed Grade CCをサポート
- ・ Premiere Pro CCによるApple ProResキャプチャーをサポート(OS X 10.8環境のみ)
- ・ 新しいPhotoshopキャプチャープラグイン
- ・ KONA 3G, v10.4.5ドライバの4Kモードにおける4K, QuadHDキャプチャーをサポート
- ・ KONA 3G, v10.4.5ドライバの4Kモードにおける4K, QuadHD 29.97/30fpsをサポート
- ・ Premiere Proのボイスオーバー機能をサポート(PDFマニュアル参照)
- ・ 16チャンネルオーディオに対応するデバイスを使用したPremiere Proでの16チャンネルオーディオキャプチャをサポート(KONA 3, KONA 3G, Io XT)
- ・ 16チャンネルオーディオに対応するデバイスを使用したPremiere Pro CCでの12チャンネルオーディオエクスポートをサポート(KONA 3, KONA 3G, Io XT)
- ・ AJA Transmitプラグインの”マッチコントロールパネル”モードを用意
- ・ After Effectsプラグインに”Disable”チェックボックスを追加。これによりプラグインをアンインストールすることなくAJAハードウェアを遮断することが可能となります。

修正点

- ・ Premiere Proで720pキャプチャー時にコマ落ちする問題を修正
- ・ Premiere ProでDVCPProHD, CineFormキャプチャー設定を使用してキャプチャーした場合、実際には圧縮されないファイルが作成される問題を修正
- ・ AJAコントロールパネルで720p, 2Kモードを選択するとき、After Effectsがクラッシュする問題を修正
- ・ After EffectsからのRAMプレビューパフォーマンスの向上
- ・ Premiere Proのテープへ書き出しにおける“Print to Video”を修正
- ・ Premiere ProとKONA LHiの1080p50/59.94/60 キャプチャー機能を修正
- ・ Premiere ProでDNxHDキャプチャーする際のオーディオ クリックノイズ問題を修正
- ・ Premiere Proのオーディオのみのインサート編集における問題を修正
- ・ Premiere Proでキャプチャしたファイルに“Compressor Info”のメタデータ・フィールドを追加
- ・ AJA Transmit プラグインがより正確に720pのシーケンスを検出し、AJAハードウェアを設定するようPremiere Proのマッチシーケンス機能を修正
- ・ Premiere ProのSDI エンベデッド タイムコードが常にノンドロップフレームである問題を修正
- ・ Premiere Proでテープへ書き出し中、作業をキャンセル出来ない問題を修正
- ・ Premiere Proでユニコードキャラクタを含むファイル名のキャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでlo Expressを使った非圧縮キャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでビデオキャプチャ終了後、キャプチャウィンドウがブランクになる問題を修正
- ・ Premiere Proのタイムラインで再生停止を繰り返した際、A/Vシンクが断続的に外れる問題を修正
- ・ Premiere ProでCineformコーデックを使用したバッチキャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでバッチキャプチャーの際、1つのクリップがコマ落ちや失敗する問題を修正

既知の問題

- ・ システムのスリープは、KONAおよびloデバイスで使用時にすべきことではありません。スリープモードをオペレーティングシステムの設定で無効にする必要があります。
- ・ KONAおよびloのCore Audioドライバは、ボイスオーバーツールを使用する場合を除いてPremiere Proでは使用されていません。Premiere Proで音声出力の設定の詳細については、AJAのAdobeプラグインのマニュアルを参照してください。
- ・ lo Expressを、Bootcamp+Windowsを使用してMacBook Pro 8,2またはそれ以前のバージョンで使用することは推奨されていません。lo Expressは、Mac Pro、またはMacBook Pro8,3上で動作するBootcamp+Windowsで動作します。
- ・ クラッシュキャプチャにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャすることは出来ません。
- ・ VFRにプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。

- ・ HD-SDI経由のクラッシュキャプチャおよびプリントにおいてVaricamフレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャやバッチキャプチャは行えません。
- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目202"ID SEL"が "OTHER"に設定されていることを確認してください。
- ・ デッキ制御において3秒以下のプリロールは推奨しません
- ・ Premiere Proのモニタ設定のデフォルトは"最初のフィールド"となっています。インターレースを正しく表示するには"両方のフィールド"を選択してください。
- ・ Premiere Proのキャプチャウィンドウを開いた状態で、デッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
- ・ Panasonic D5デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソースの設定をLTC+VITCにしなければなりません。

Because it matters.

